

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	北陸地方建設事業推進協議会 平成26年度「建設技術報告会」	事業経緯	継続	実施体制	実行委員会	担当所属	技術部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業		事業区分	技術開発、研究開発	

1. 事業目的

本事業は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及・促進に寄与するものである。

2. 事業実施体制

主催：北陸地方建設事業推進協議会 平成26年度「建設技術報告会」実行委員会

北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、新潟市、東日本高速道路(株)新潟支社、中日本高速道路(株)金沢支社、(一社)日本建設業連合会北陸支部、(一社)日本道路建設業協会北陸支部、(社)新潟県建設業協会、(一社)富山県建設業協会、(一社)石川県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(一社)日本建設機械施工協会北陸支部、北陸土木コンクリート製品技術協会、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部、北陸PC防雪技術協会、(一社)新潟県融雪技術協会、(財)新潟県建設技術センター、北陸地質調査業協会、(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部、(一社)北陸地域づくり協会、(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

3. 事業実施概要

- 開催日時：平成26年9月25日(木) 9:30～16:30
- 開催場所：富山国際会議場(新大手町フォーラム)
- プログラム：
 - ・開会式
 - 開会挨拶：今野 和則(北陸地方整備局 北陸技術事務所長)
 - ・基調講演「北陸地方の塩害およびASRによる劣化事例から学ぶ社会インフラの長寿命化対策」
 - 講師：鳥居 和之(金沢大学理工研究域 環境デザイン学系教授)
 - ・技術報告(分科会)
 - 2会場で37技術の発表
 - ・閉会式
 - 総評・挨拶：今野 和則(実行委員長、北陸技術事務所長)
- その他
 - ・パネル等展示コーナー(開発技術等のパネル展示：31企業)
- 聴講費：無料
- 参加者：行政職員147名、民間企業293名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

平成7年度より毎年開催しており、今回で19回目となる。
 厳しい社会経済情勢から、品質の確保及びこれまで以上に効率的かつ効果的に進めることが必要不可欠であり、そのためには新技術・新工法の活用・普及が重要課題である。このような時代背景を象徴して、400名を越える聴講者があった。
 新技術・新工法における情報交換の貴重な機会として、大変有意義であり、「今後も続けてほしい」との意見(アンケート：95%)や「今後の課題であるインフラ整備の長寿命化対策技術の発展の必要性を強く感じた」など、新技術に対する意識の向上が図られていた。また、基調講演では、北陸における塩害およびASRによる橋梁等の劣化事例に加えて、補修事例を挙げることで問題提起をしていただき、今後も今回のような基調講演を取り入れてほしいとの要望を得た(アンケート：88%)。



開会挨拶／基調講演



技術報告発表

